

第7課
5月18日



家族の一致の秘訣

暗唱 聖句

「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります」
(ヨハネ 17：21、新共同訳)

「父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためであり、すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、それによって、あなたがわたしをおつかわしになったことを、世が信じるようになるためであります」
(ヨハネ 17：21、口語訳)

今週の 聖句

創世記 33：12～14、ルツ記 1：16～18、ヨハネ 17：21～26、ガラテヤ 3：28、エフェソ 2：11～22、5：21～6：9

安息日 午後 5/11

今週のテーマ

家庭生活は、さまざまな人にとって人生のさまざまな季節をあらわします。親たちにとって、彼らの人生に子どもを迎えることは大きな変化であり、その変化は生涯続きます。そして子や孫にとって、言うまでもなく、存在していなかった状態から存在することになるというのは、大きな移り変わりです。そして、子どもたちも人生のさまざまな段階を経験し、やがて家を離れ、自分の子どもを持つかもしれません。

しかし、家族の中の親であれ、子どもであれ、私たちはみな、同じものと格闘します。それは、私たちの罪深い墮落した性質であり、控えめに言っても、私たちの家庭生活の一致は、それによってとても困難になる可能性があります。

確かに、十字架上のイエス・キリストの御体によって、全人類は神と、また人間同士と和解しましたが（エフェ 2：13～16、コロ 1：21～23）、私たちは日々の実際的なレベルにおいて、キリストの恵みにふさわしくなければなりません。その恵みによってのみ、信仰において家族の一致を求める者たちはみな、その一致を実際に経験できるのです。これが、私たちの生活における日々の経験にならねばなりません。幸いなことに、キリストの恵みによってそれは可能です。

問1 パウロは、キリストにある人々の間に存在する新しい一致を説明するために、どのような例を用いていますか（エフェ2：11～22、さらにガラ3：28も参照）。キリストは、どのようにして「二つ」のものを「一つ」にされたのですか。

キリストの十字架は、人々を互いに分け隔てる壁を取り壊します。壁は、ユダヤ人の神殿の礼拝者を、男と女に、またユダヤ人と異邦人に分けました。パウロは、キリストにあるユダヤ人と異邦人の一致を説明する際に、国々や人の集団、社会的階層や性によるほかの区分けにも同様に適用できる言葉を用いました。「彼にあって、二つのものをひとりの新しい人に造りかえて平和をきたらせ（る）」（エフェ2：15、口語訳）ことは、夫婦が結婚生活において「一体」の一致を真に知る助けとなる良い知らせです。また、キリストにある信仰によって、長い間分裂していた家族が和解しうるのです。

問2 キリストにある一致に関する聖句を引用することと、実際にそれを経験することとは、まったくの別物です。私たちに約束された一致を経験させるどのような実際的な変化を、キリストは私たちの生活にもたらしてくださいませか。例えば、ロマ6：4～7、Ⅱコリ5：17、エフェ4：24～32参照

「大きな円があって、そのふちからたくさんの線が中心に向かって集中している図を想像されたい。これらの線は中心に近づけば近づくほど互いに接近し合っている。……キリストに近づけば近づくほど、わたしたちは互いに近くなる」（『希望への光——クリスチャン生活編』673ページ、『アドベンチスト・ホーム』191ページ）。

「父親と息子、夫と妻の間には、……彼らが気づこうと気づくまいと、仲保者なるキリストが立っておられる。彼によらず、彼の言葉によらず、彼に従うことによらずして、私たちは自分の周囲と直接関係を築くことができないのである」（ディートリヒ・ボンヘッファー『弟子になるために支払う犠牲』108ページ、英文）。

◆ あなたの家族や教会の家族は、先の引用文の大きな円の中心にどれくらい近いですか。円の中心との関係が本来の状態であるためには、何が中心に近づかなければなりませんか。

「どうか、主があなたがたを、お互いの愛とすべての人への愛とで、豊かに満ちあふれさせてくださいますように」(Iテサ3:12)。

問3 イエスは父なる神に、「わたしたちが一つであるように、彼ら〔弟子たち〕も一つになる」(ヨハ17:22) ように、と祈られました。このような一致を達成するのに必要な愛の役割に特に焦点を合わせながら、イエスがここで言うておられることを要約してください。

この祈りの中でイエスが気にしておられたのは、弟子たちの一致でした。アガペーの愛を経験することが、このような一致には欠かせません。「アガペー」とは、この祈りの中や、新約聖書の多くの箇所 で用いられている神の愛をあらわす聖書用語です。そのような愛は、まさに神の御性質であり (Iヨハ4:8)、それがイエスの弟子たちを明らかにします (ヨハ13:35)。神の愛は、罪深い人間の心には生まれつきありません。それは、キリストが御自分の“霊”によって信者とともに住んでくださるとき、その人の命にもたらされるのです (ロマ5:5、8:9、11)。

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」(ヨハ15:12)。これらの言葉を記した弟子のヨハネは、かつては好感の持てる人間ではなく、傲慢で、権力欲が強く、批判的で、短気でした (マコ3:17、ルカ9:54、55、『希望への光』818ページ [『各時代の希望』381、382ページ])。晩年、ヨハネは、こういった性質にもかかわらず、イエスがいかに彼を愛し続けてくださったかを思い出します。イエスの愛がヨハネを徐々に変え、クリスチャンの一致においてほかの人を愛せるようにしたのです。「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです」(Iヨハ4:19)、「神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです」(同4:11) と、彼は書いています。

問4 Iコリント13:4～8を読んでください。「愛」という言葉が出てくる箇所に、あなたの名前を入れてください。いかにそれはしっくりきますか。このような愛の資質を“霊”によってあなたの人生にもたらしてください、とイエスに求めましょう。このようなクリスチャンの理想に達するために、どんな変更をするようにと、“霊”はあなたを促しておられますか。

「もし、誇りと利己心が取り除かれれば、たいていの問題は、五分間で解決する」
『初代文集』125 ページ。

私たち人間の性質は、罪によって墮落しました。そして、その墮落の最も卑近な例が、たぶん利己心というのろいなのです。私たちは生まれつき利己的なようで、その現実、幼い子どもの中にも見られます。彼らの基本的な性質は、自分のために欲しがることです——「私、私、私……」。大人になるまで、この特徴は、特に家において、かなりひどい形であらわれることがあります。

言うまでもなく、イエスはこれを変えるために来られました（エフェ4:24）。イエスの御言葉は、私たちが彼を通してこの破壊的な性格特性に支配されずすむ、と約束しています。イエスの一生は、利己心なしに生きるとはどういうことかの完璧な見本です。彼の人生を真似する度合いに応じて（Iヨハ2:6）、私たちは自分自身のためだけに生きる傾向に打ち勝つことができます。

問5 次の聖句を調べてください。無私無欲な生活を送ることについて、これらの聖句は何と述べています。

フィリピ2:3～5 _____

Iヨハネ3:16～18 _____

冒頭でエレン・G・ホワイトが書いているように、もし誇りと利己心が取り除かれるなら、多くの問題は、悪化してひどいことになるずっと前に、すぐ解決されるかもしれません。家族はだれもが、特に親たちが、十字架（全宇宙で無私無欲の最高の手本）の下でこの罪から清められなければなりません（箴16:6）。たとえそれが、絶えず十字架に戻り、祈りと信仰、涙と服従によってひざまづくことを意味するとしても……。

◆ あなたは、自分の生活の中にあられた利己心と戦いながら、十字架の下でどれくらいの時間を過ごしていますか。マタイ7:16は、あなたがそこで十分な時間を過ごしてきたかどうかを示すのに、いかに助けとなりますか。

問6 人間関係における謙遜や奉仕に関して、パウロはどのような勧告をしていますか（エフェ5：21）。このような態度は教会の一致にどう貢献すると、あなたは思いますか。なぜそれは家庭において重要なのですか。同5：22～6：9

「仕え（る）」（エフェ5：21）という言葉は、自発的な選択に基づいて、ほかの人の前に自分自身を謙虚に置くという意味です。この独特な原則はキリストから始まり（マタ20：26～28、ヨハ13：4、5、フィリ2：5～8）、彼の霊で満たされているすべての人を特徴づけます（エフェ5：18）。このように仕えようと人々を動機づけるものが、「キリストに対する畏れ」（同5：21）です。自己犠牲による相互依存関係は、社会的関係における革命的なキリスト教の教えでした。現在でもそうです。それは、すべての人がキリストにあって一つであるという霊的現実を命を吹き込みます。例外はありません。

家族の原則 クリスマンが仕え合う試験場は、家の中です。もしこの原則がそこで効果的であるなら、それは教会の中にも劇的変化をもたらすでしょう。パウロは仕え合いの原則を紹介してからすぐに、それを家庭で適用することへ話を移しています。

エフェソ5：22～6：9において、三つの人間関係が取り上げられています。それらは、社会の中で最も一般的であり、最も平等でないものです。パウロの意図は、既存の社会秩序の強化ではなく、根本的に異なる自発的な仕え合いが信者の間にあるとき、キリストの信仰の文化がいかに機能するかを示すことでした。

問7 パウロが一貫して、文化の中で社会的に弱者たち（妻、子ども、奴隷たち）にまず話しかけているのは、なぜだと思えますか。それぞれの人たちの仕えることに添えられている条件の言葉〔……のように〕を書き出してください。

| エフェソ5：22 | エフェソ6：1 | エフェソ6：5 |
|----------|---------|---------|
| | | |

より大きな社会的力を持つ者たち（夫、親、主人たち）は、常に二番目に呼びかけられています。それぞれの人たちは、当時の文化にとって極めて珍しい命令を受けています。これらの命令は、西暦1世紀の信者たちを驚かせたに違いありません。彼らはキリストに対する畏れをもって、互いに仕え、真の一致を人間関係の中で体験するための道を開いたのでした。

結局のところ、家族の団結や一致は、夫婦の献身をはじめとして、互いを気遣う家族の献身にかかっています。悲しいことに、聖書の歴史は、破られた約束、裏切られた信頼、献身があるべき場に献身がないといった実例でいっぱいです。しかし聖書にはまた、神の助けを得て、友人や家族のために献身し、その約束を守った普通の人々の感動的な実例もあります。

問8 次の家族や、彼らの献身の度合いについて考えてください。ある家族においては、どうしたら献身が強められましたか。ほかの家族においては、何が献身を促しましたか。

親子の献身（創33：12～14、出2：1～10） _____

兄弟の献身（創37：17～28） _____

家族の献身（ルツ1：16～18、2：11、12、20、3：9～13、4：10、13） _____

結婚の献身（ホセ1：2、3、6、8、3：1～3） _____

結婚をする場合や、子どもを生んだり、養子にしたりする決心をする場合のように、私たちが他者に献身するとき、将来、異なる選択をするために自己を進んで放棄しなければなりません。つまり、私たちの人生の重要な部分に対する支配権を放棄しなければなりません。律法は、好ましくない行動を抑制しますが、結婚や家族の関係は、それらを繁栄させる愛を必要とします。

◆ イエスの献身の約束（ヘブ13：5）は、あなた個人にとってどのような意味がありますか。あなたに対するイエスの献身は、彼に対するあなたの献身や、配偶者、子どもたち、仲間の信者に対するあなたの献身に、どのような影響を及ぼすべきですか。

参考資料として、『アドベンチスト・ホーム』第28章「子どもの最初の学校」を読んでください。

一致が第一の働き——「クリスチャンのなすべき第1の働きは、家族が一致していることである。……家族の者が一致していればいるほど、父親や母親や息子や娘が家庭の外で及ぼす感化はもっと励ましを与え、助けを与えるものとなる」（『希望への光——クリスチャン生活編』599、600 ページ、『アドベンチスト・ホーム』31 ページ）。

家族の一致の秘訣——「家庭や教会内の不一致や分裂の原因は、キリストから離れることにある。キリストに近づくことは、互いに近づき合うことである。教会と家庭が真に一致する秘訣は、折衝の仕方や運営の方法とか、困難を打開しようとする超人間的な努力にはなく——これらのことも大いにしなければならぬが——キリストとの結合にある」（同上 672 ページ、同上 191 ページ）。

話し合いのための質問

- ① あなたの社会にある力で、家族の一致を妨げるように働くものについて話してください。そのような影響力と戦っている家族に、あなたはどのような実際の解決方法を提供できますか。
- ② あなたの教会には、今、ばらばらになってしまった家族がいますか。もしいるとしたら、そのような危機の時の中にいる家族1人ひとりを助けるために、教会として何ができますか。
- ③ 仕えるということに関するさまざまな問題を話し合ってください。キリスト教的背景の中で、それはどのように理解されるべきですか。その原則は、どのように悪用されてきましたか。
- ④ 家族の一致に関する原則で、教会の一致にも適用できる原則はどのようなものですか。